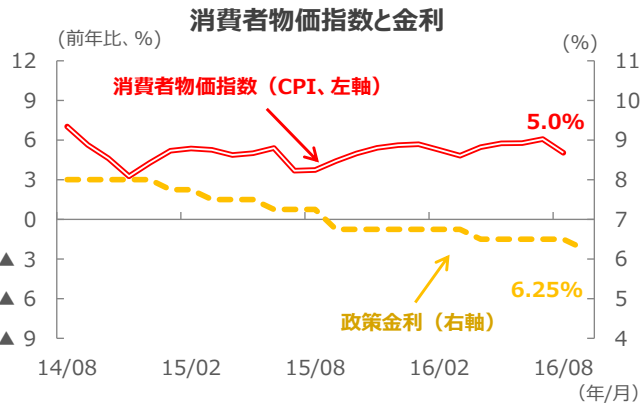


今日のトピック インドの金融政策 半年ぶりに利下げ (2016年10月) 政策金利の0.25%引き下げを決定

ポイント1 政策金利を0.25%引き下げ 食料インフレの低下見通しを反映

- インド準備銀行（インドの中央銀行、RBI）は4日、政策金利（レポ金利）を0.25%引き下げて、6.25%としました。利下げは今年4月以来です。今回の利下げは、公務員給与引き上げによるインフレ上昇の影響を注視しつつも、モンスーン期に十分な雨が降ったため今後食料インフレが低下するとの見通しを反映した結果と見られます。



(注) データ期間は2014年8月から2016年8月。政策金利は2016年10月4日まで。
(出所) CEICのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 新総裁の下、MPC体制が始動 全会一致で利下げが決定

- 9月に就任したパテル新総裁の下での初の金融政策決定会合でしたが、今回から合議制の金融政策委員会（MPC）へと運営方式も変更されました。MPCは6人の委員で構成されますが、このうち総裁・副総裁を含む3人はRBIから選任され、他の3人は政府が任命します。任命された委員はいずれも学者で、政権からある程度の独立性が担保されたと考えられます。こうした新体制のなか、全会一致で利下げが決定しました。MPCの各委員の金融政策に対する立場を判断する上では、今月18日に公表予定の議事録に注目です。

金融政策委員会 (MPC) 委員

政府任命委員	
Dr. Chetan Ghate (チェタン・ガート博士)	インド統計大学：准教授 RBI専門諮問委員会 (TAC) メンバー
Dr. Pami Dua (パミ・デュア博士)	デリー・スクール・オブ・エコノミクス：経済学部長 TACメンバー (2014年)
Dr. Ravindra Dholakia (ラビンドラ・ドラキア博士)	インド経営大学院 (アーメダバード)：教授
インド準備銀行任命委員	
Dr. Urjit Patel (ウルジット・パテル博士)	インド準備銀行 (RBI) 総裁
Mr. R Gandhi (アール・ガンディ氏)	RBI副総裁
Dr. M D Patra (エム・ディー・パトラ博士)	RBI常任理事 (経済・政策調査局、金融政策局、広報局管掌)

(出所) 各種公開情報を基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 利下げの決定を市場は好感、今後も金融緩和は継続される見込み

- 今回の金融政策に際し、事前の市場予想では大方が利下げを見込んでいたこともあり、利下げ発表後の金融市場では大きな影響は見られませんでした。
- RBIは2018年1-3月期のインフレ予想を前年比+4.5%と発表しました。足元の消費者物価指数は同+5%程度となっており、今後インフレは低下すると見込まれています。今後は政策効果を見ながら追加金融緩和が実施されると見込まれます。

ここもチェック! 2016年9月21日 インドのインフレ動向 2016年9月 2日 最近の指標から見るインド経済 (2016年8月)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。